

彩の歳時記

平成二十六年 六月

おもしろうてやがて悲しき **鵜舟**かな 芭蕉 1688年六月、岐阜県の長良川で鵜飼を見た折の句。

船の**赤い篝火**が美しく映り、にぎやかに漁が行われる**鵜飼**(うかい)を面白く見物していたが、華やかなだけに、後のもの悲しい佇(たたずま)いに侘(わび)しさを詠じている一句。

長良川の鵜飼は、五月から十月に行われる1300年の歴史を持つ夏の風物詩。

鵜飼の鵜は川鵜よりも体が大きく丈夫な**海鵜**(うみう)で**鵜匠**(うしやう)が鵜の首を締めて魚を吐き出させる「古典漁法」で現在は観光行事のみ。鵜の首に付けられた紐を鵜匠が引いても鵜の首を締めて苦しませることがないような工夫がされている。



六月の異称 水無月 「無」は「神無月」の「無」と同じく「の」にあたる助詞「な」で、水の月の意。

六月の暦

一日 衣替え 平安時代の宮中行事が始まり。六月と十月に学生服などの制服が一齐に替わる。

着物はおおまかに、十月〜五月迄が袷(あわせ) 六月と九月は単衣(ひとえ) 七月〜八月は薄物。

通学路 今朝まぶしくて 衣替え 俵 万智

六月の夏祭

二日〜三日 天王祭・素盞雄神社 《荒川区》

七日〜八日 鳥越祭 「千貫」の神輿は都内随一の大きさ。《台東区》

七日〜十七日 山王祭 「神輿みこし深川、山車だし神田、だだっ広いが山王様」と表した江戸三大祭の筆頭として、さらに京都祇園祭、大阪天満祭と共に日本三大祭に数えられる。《千代田区》



六日 芒種【二十四節気】 芒「稲や麦など穂が出る穀物」のある植物の種を蒔く時期。田植の頃。

六日 稽古の日 三味線・舞踊などの芸事は六歳の六月六日に始めると上達すると言い伝えられている。

十一日 入梅【雑節】 入梅 芒種の後の最初の壬(じん)・みずのえの日。

十二日 宮城県民防災の日 1978年(昭和53年)、死傷者1353人を出す宮城県沖地震を機に制定。

十五日 千葉県民の日 現在、619万人。1873年に印旛郡と木更津県が合併、県庁が千葉町に。

栃木県民の日 宇都宮県と栃木県が合併。県庁は宇都宮市。日光国立公園を持つ。約199万人

十五日 父の日【第三日曜日】 母の日の花がカーションなのに対し、父の日の花はバラ。

父の日に自分で丸をつけておく 「父の日の川柳大賞」



二十一日 夏至【二十四節気】 夏に至る。一年で最も昼間が長いとされるが、梅雨で日照時間は短い。

二十四日 林檎忌 数多くのヒット曲を重ね、歌謡界の女王と呼ばれた美空ひばり

【1937〜89】の忌日・ヒット曲「リンゴ追分」に因む。初の女性国民栄誉賞。



三十日 夏越の祓 一年を二分する古来の考え方から六月晦日は半年の最終日、

平安時代から上半期の厄を払う行事が地元の神社で行われる。

出雲系神社の京都上加茂神社・下鴨神社・大阪の住吉大社が有名。

六月の歌 お祭りマンボ 1952年8月15日 歌謡 美空ひばり

東京市日本橋区日本橋馬喰町出身の原六朗【1915〜2001】が当時流行して

したマンボに乗せ、お祭り好き江戸っ子気質をテーマに作詞作曲。

ひばり自身も好んで、1988年の東京ドーム公演、テレビでも良く

披露。明るく軽快なリズムで親しまれ、ジャニーズの「忍者」が

「お祭り忍者」として、篠原ともえ・岡林信康もカバーしている。



私のとなりのおじさんは

神田の生まれでチャキチャキ江戸っ子

お祭りさわぎが大好きで

ねじりはちまき そろいのゆかた

雨が降ろうがヤリが降ろうが

朝から晩までお神輿かついで

ワッショイワッショイ

ワッショイワッショイ

ソーレソーレお祭りだ